

まち・ひと・しごと創生 総合戦略
第2期（令和7年度事業分）
主要プロジェクト

<<外部検証>>

（ 評価 及び 意見 ）

令和8年3月

外部検証（評価）

No	プロジェクト名	評価
1	いいでの子大したもんだプロジェクト	B
2	豊かで活力ある地域コミュニティの形成	B
3	町民総主役化プロジェクト	B
4	いいで田園ルネサンス	B
5	子育て世帯への総合的支援	B
6	一人ひとりに寄り添う社会の実現	B
7	町民一人ひとりの主体的な健康づくりの推進	B
8	結婚の希望の後押し支援	C
9	移住・定住、田園回帰の加速化	C
10	確かで柔軟な住環境整備	B
11	新たなツーリズムの創造	A
12	人をつなぐ、心をつなぐ交流と発信	A
13	魅力的で活力ある、力強い農林業の振興	B
14	域内循環社会の構築	C
15	地域の拠点づくりと新たな地域支えあい活動等の創造	B
16	「日本で最も美しい村」づくり	B
17	スマートカントリー構想の実現	C
18	デジタル化を活用した強固な社会基盤の確立	B
19	こだわりの産業を創る商工業基盤の強化	B
20	バイオマス産業都市構想の推進	C

外部検証（意見）

全体を通した評価・意見

- ✓ 昨年度までの私見が反映されたわけではないと思いますが、自己評価、内部評価ともに「計画」や「目標」「指標」の意味、意義を正しく捉えた結果が出てきていると感じました。
幾分、辛口、厳しい評価となった部門もあったようですが、今年で中間年を終了し、後半に入る、さらに首長も変わったわけですので、可能なら大胆に戦略の変更や数値目標も変えてよいのではないのでしょうか。
技術的なことでありますが、進行管理である数値目標値が5年間で「1」とするようなものでは事業推進の過程を評価できません。歴年の進展状況がわかる表現、指標にする工夫が必要なのではないのでしょうか。
私個人としては、必要不可欠な「経常業務」を計画に掲げ、外部からも評価されるような数値目標を掲げるべきだと思います。
内部評価でも出されていましたが、項目が多すぎます。交付金や国、県の施策との兼ね合いもあるかと思いますが、人口6000人の町として妥当な項目数に集約してはいかがでしょうか。「戦略」「総合計画」「プロジェクト」も「町長の5つの提案」に集約してはいかがでしょうか？
- ✓ 数値化、文章化して終了ではなく、そこに課題があるなら「どうやったらいかに解決できるか、町民の豊かな生活につながるか」を町全体で共有・連携していきたい。
- ✓ 多様な生き方や個人が尊重される中、人口増のために結婚から出産は女性にとって負担が大きい。国全体での意識改革が必要。もっと上手なお金の回し方があるはず。

No.	プロジェクト名	意見
1	いいでの子大したもんだプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 机上のみならず、個人を伸ばす事業が欲しかった。 ✓ 検定費助成は親としてはとても助かるが、事業目標に『学力の向上ではなく』とあるので、飯豊町の自然を生かした体験や、インバウンドを利用した国際交流も良い経験になるのでは。 ✓ 地域学校連携推進員の努力で、町や地域を愛する心の醸成をめざした様々な取り組みが行われるようになったことは、高く評価したい。 ✓ 検定や難問クイズなどに取り組むことはよいことだが、それだけが「確かな学力」ではない。5次総で目指している、「知・徳・体のバランスのとれた、新しい時代に活躍できる子どもの育成」こそ大事にすべきと思う。 ✓ 中間年度累計目標値(以下単に「目標値」と記す。)を達成している。あらたに目標を設定してもよいのでは。 ✓ 難問問題は解ける子どもがほんの一部に限られる。体感型・実感型を取り入れてほしい。 ✓ 町を知る総合学習でSDGsについて取り組みは継続。

No.	プロジェクト名	意見
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 課題を乗り越えていく力、生きていく力を育てる人間力を身に付けられるプロジェクトが必要。
2	豊かで活力ある地域コミュニティの形成	<ul style="list-style-type: none"> ✓ いいで未来カフェは活動しているが、その事は一部でしか認知されておらず、地域づくりに生かされていない。 ✓ 公民館からまちづくりセンターに変わったことにより、地区と役場が繋がったイメージ。これからも連携強化して地区から飯豊町全体を盛り上げて頂きたい。 ✓ 子どもが夢を持って、その実現に挑戦できるような教育環境が望まれると思います。そういった意味では、児童・生徒時代の体験が重要だと思います。絵画や彫刻、舞台などの芸術や世界遺産などの本物を感じることで、職人の技術を体験すること、また、世界の人と交流する機会を持つことなど、本物に直に触れ感じることで、将来の可能性を発見できる機会を、農村山であっても提供できる環境づくりをお願いします。 ✓ 子どもたちが受け身で参加するのではなく、プロジェクトの企画・運営に参加する方向にステップアップする方向で実施していただきたい。 ✓ 過去、現在、将来の地域の現状についての資料がいつでも見れる環境を作っていて、地域内で意見交換する機会につなげるような環境を地域と共につくることが大事だと思います。いつまでも行政が補助支援していくことは、無理であり限界だと思います。 ✓ 少子高齢化を背景に、税外負担についての問題が生じています。そのため、そして、楽しく取組むためにも、地域で稼ぐ、収入を得るという意識を持つためのチャレンジが必要だと思います。 ✓ まちづくりセンター職員がかわり、新しい発想での活動が展開されるようになっていと思う。どんな組織も、「異動」は大事である。 ✓ 地区別計画を推進するため、アドバイザー、サポーターは、必要と思う。 ✓ 2つ目標値が達成である。ポイント制度の導入はどうなっているのか？目標として相応しいのか？できないのであればできなかった原因、理由を明確にし、別項目を目標とするべきでは。研究所の今年度の実績は？
3	町民総主役化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 町民が主体の活動が少ないです。意見の吸い上げもですが、できそうな事業の種まきも必要と思う。 ✓ プロジェクト名が『町民総主役化』ということなので、子供から大人まで、小さなコミュニティでも何でもいので何らかのグループに属し役割を与えることにより、地域や身のまわりのことに目を向けられるようになる。それにより町民が多数参加できる方向に導けるのでは。 ✓ 地域貢献したい、地域資源を生かしたい、環境を考えたいなど多くの動機が実現できる、人がつながるような気軽に門をたたきやすい窓口の拡充を

No.	プロジェクト名	意見
		<p>お願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 飯豊中の教育目標の「地域に貢献する生徒」を受け、中学生のボランティア活動の受け入れや支援が進んできたことは、大きな成果である。 ✓ KPI について、どの項目もあと一歩だったことは残念である。 ✓ 3つ目標値全て達していない。公募委員の枠に私の席を譲りたい。 ✓ 青少年・若者（中学生・高校生・10代・20代）ごとメンバーを集め、思いや考えていることをプロジェクトとして実行する活動もある。今の次代に走りアイデアが大事だと思う。
4	いいで田園ルネサンス	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 文化継承で菅笠づくり体験では県の補助金を活用できてよかった。役場の協力があると、国や県の補助事業がやりやすいと思う。 ✓ KPI を見てもわかるように実現不可能なら中身の大幅な見直しが必要なのでは。 ✓ 人間らしく、ゆとりをもって、個を考えながら結の精神で暮らしを営む。自然多き農村ならではの暮らしです。基本となる農村文化の継承が大切です。高齢者の皆さんは、農村文化の中で暮らしてきました。子供たちは、その文化にふれる学びの機会があります。しかし、全世代で継承できているでしょうか。家庭の中でも話題となるような体験や、多世代の参加の工夫が必要と思います。 ✓ 農村文化を感じられるフォトコンテスト、飯豊の農村文化を現実に暮らしで実践している、真の「いいで人」の顕彰など、具体的な事業で、町内外へ知ってもらう仕掛けが必要と思います。 ✓ プロジェクトの理念・内容が抽象的であるため、なかなか取り組みが進まなかったのだと思う。プロジェクト設定についての大きな反省点になる。 ✓ 2つ目標値全て0である。1つが達成。目標として相応しいのか？できないのであればできなかった原因、理由を明確にし、他の事業と合併させ違う目標値を設定していかがか。 ✓ 先人の知恵や受け継がれてきた伝統文化を認識して継承する機会を子どもたちに体験するPRは効果があったと思う。 ✓ 地区まちづくりセンター中心よりも、町の年間スケジュール化をすることで町民も町外の方も参加しやすくなると思う。
5	子育て世帯への総合的支援	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 少子化で利用も少なくなっている。数が少ない分、もっと多くの支援ができたのではないか。 ✓ 国の学費無料化等の教育支援が年々増加し、以前より進学しやすい環境になった。しかし、その内容が周知されていない。 <p>また、子育てに関するマイナス面の方が表に出てしまってプラス面が隠れてしまっている。もっと子育ての良いところをアピールすれば、結婚して子供を</p>

No.	プロジェクト名	意見
		<p>持ちたいと考える人が増えるのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 子育て支援センター・こども未来館、認定こども園、子育て世代包括支援センター、学童クラブやファミリーサポートセンターなどの連携や機能分担を十分行い、多くの方へ情報発信し、ここに行けば、子育てのことが全て相談できる体制整備を図ることが、まずは基本と思います。 ✓ 多世代同居による子育ての方向もあると思う。その中で得られる暮らしの知恵や文化、伝統風習は、地球で生きる糧になる場合がある。ぜひ、継承してほしい。 ✓ 子育て親育ち教室への参加者が毎年多いのはすばらしい。 ✓ 新たな事業にも積極的に取り組んでいるようで、今後に期待したい。 ✓ 指標 3 つのうち 1 つが達成。事業が見えやすい。「不妊治療費補助事業申請件数」という目標値が 10 年計画の 2 年目で終了するようなものであれば、そもそも目標値として相応しかったのか、教室への参加者の目標値が「累計 100」で単年度で達成できるような低いハードルではなかったのかという点は残る。 ✓ 共働き世帯への支援として子どもの学校クラブ、部活動等の送迎を支援する対策も検討いただきたい。
6	一人ひとりに寄り添う社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地区長、民生委員、役場職員等、見守るべき人はいるのに情報の共有はあまりできていない。 ✓ 単身世帯が増え、人口も減ってきている状況から隣家までが遠く孤立している方の話を耳にします。除雪作業はもちろんですが会話をするボランティアというのがあったら喜ばれるのでは。 ✓ 現在の世の中で、学校にいけない子供、社会になじめず外に出れない人、心身や身体の状況で職に就けない人など、多くの事情を抱えている人がいます。どんな状況下でも、本人が、親や家族が、友人が相談できる場や連絡先等の充実した情報提供が必要と思います。 ✓ 農村の中でも、多様性が認められ、尊重される社会を目指して、個々にリスペクトの精神で、個性、能力を発揮できる町であってほしいと思います。 ✓ 町の職員が、住民の声に耳を傾け相談窓口につなごうとしている点、ぜひ継続していただきたい。 ✓ 小中学校での認知症サポーター養成講座がようやく 1 校で実施されたことは前進と評価したい。早めに学校と連絡を取れば、そうむずかしくなく実施できることと思う。 ✓ 指標 3 つのうち 2 つが達成。一方、「小中学校での認知症サポーター養成講座の開催」は 1 である。1 事業だけに注目すれば、小中学校で開催されるに越したことはないが、小中学校は義務教育の場であり本来の授業

No.	プロジェクト名	意見
		<p>優先で良いのでは無いか。中間年以降の目標値をどのように設定していくか課題。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 本当に困っている人は自分から相談できずにいるはず。地域や各関係先（学校・施設）から情報が届く体制作りが必要。
7	町民一人ひとりの主体的な健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 各事業について広く周知が必要と思う。前に出る人だけが利用する特典になっていないか。 ✓ 百歳体操やほのぼのサロン等高齢者の活動が定着してきている様に見える。しかし、スポ少等若い人が町内でスポーツをできる場所が減り、希望していてもできないというのはどうか。 ✓ 各種事業への参加者が固定されているように感じます。より多くの方や世代に広がるような工夫が必要と思います。 ✓ ポイント事業については、カードからアプリへの転換も必要だと思います。また、健康、福祉、スポーツ関係だけでなく、読書や、囲碁将棋、ゲームなど、多岐にわたり参加でき、体も頭も心も健康につながるものを取り込むことも検討できないでしょうか。さらには、単年度に限らず、将来の支えあいにつながるようなポイント導入の仕組みも検討してほしいと思います。 ✓ ポイント実施期間は、1年中であることが大事と思います。 ✓ 高齢者が中心と思うが、健康づくり事業への参加者が増えていることは、大きな成果と思う。ただ、1番目のKPI（アプリ活用）の実績がなかったため、Aとは評価できない。 ✓ 指標4つのうち2つが目標値達成。事業が見えやすい。指標としている「アプリ」は早期に目標から降ろしてはいかがか。もちろん、理由、説明は必要だが。イベント開催は累計10回としている事業で30回開催したということか？目標値の設定に疑問。悪くいえば、「やり過ぎ」「予算の無駄遣い」でなかったのかという点もあるのではないか。 ✓ 見直し検討にもあるよう、外部組織と連携し、健康・元気いいで町ポイント事業にもつながると参加率も増加して町民の健康意識増になるのでは。 ✓ ポイントのアプリ化
8	結婚の希望の後押し支援	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新規就農や移住定住に絡めた若者の呼び込みが必要。 ✓ 飯豊町内に限らず婚活イベントやそれに準じたイベントの存在自体知らない人が意外に多い。興味がある人への情報が伝わっていないのは改善点だと思う。 ✓ 一度、結婚の価値観の変化、将来の暮らしへの対応、パートナーづくりに必要な支援策について、調査してはいかがでしょうか。 ✓ 民間組織が企画実践する事業に支援する仕掛けを作ることも取組の一つと思います。

No.	プロジェクト名	意見
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 実績が0で、自己評価も内部評価もCになってしまったことは残念である。人口減少、少子化を少しでも食い止めるために大変重要な事業であり、今後も取り組んでほしい。 ✓ 必要な事業だと思うが、目標とした「参加人数」は17 / 50。「企業数」は0。当事業は目標指標に掲げた内容からすれば「D」とし、事業内容や目標値を再検討するべきである。 ✓ 今の時代、幸せは結婚する事だけではない。様々な選択肢もあっていいので、参加する人、企業もなければプロジェクトの見直しをすべきタイミングだと思う。
9	移住・定住、田園回帰の加速化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 各イベントにはある程度の参加があるが、そこに深く関われる一般市民がほぼいない。一部の人だけの参加になっている。 ✓ 便利な生活を送る都市部の真似には限界が。飯豊町の良いところは自然。それをビジネスに繋げては行けないだろうか。仕事があればそこに住む人も増えてくると考えられる。 ✓ 移住や二地域居住にあたっての職確保のためのサテライト企業の誘致、子供の教育のためのデュアルスクールの検討など進めてほしいと思います。 ✓ 空き家のリノベーションによる、お試しシェアハウス等の整備による居場所づくり、空き校舎となる遊休施設の複合的活用による、定住人口となる前の関係人口づくりも考えられると思います。 ✓ 非常に成果の出にくいプロジェクトに工夫しながら取り組んでいること、ビジネスプランコンテストが初実施されたことは評価したい。 ✓ 事業は展開しているのに、数値目標に現れない。計画に無い事業をやっているでなければ、数値目標の指標を変えるべき。目標値が5年間で「1」とするようなものでは事業推進の過程を評価できない。 ✓ 正かはずぐ出ないため、継続していく。
10	確かで柔軟な住環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 移住と空き家をいかに結びつけるか。町民への周知、参加が問題では。 ✓ KPI だけ見ると目標にほど遠い。KPI 自体見直す必要があるのでは。目に見えて空き家が増えてきている。そういった身近なことの対策を次期目標にしてはどうか。 ✓ 空き家をリフォームして販売する仕組みづくりのための先進地研修、町内建築業者や近隣も含めた不動産業者との連携などを模索してほしいと思います。 ✓ 飯豊町内の賃貸住宅は、古い物件となり、若い世代からは敬遠されがちです。空地スペースは破格な価格で提供する、子供の数によって賃貸価格が割引かれる、若い世代が空き家を取得して30年住むと取得価格相当を補助するなど大胆な住宅施策が必要です。

No.	プロジェクト名	意見
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ さまざまな取り組みが行われていることはわかるが、K P I の実績値からでは A とまでは評価できないのではないか？ ✓ 目標値の「エコハウス棟数」は 3 / 2 0 。昨年度は 0 。「老朽危険空き家数」は 2 4 / 5 0 。空き家対策は評価できる。新築エコハウスを指標にするより、改築(リノベーション)を指標とするべきでは無いのか。 ✓ 新築する資金が増加して中古物件をリフォームする人が多いので、空き家リノベーションする事業に期待したい。
11	新たなツーリズムの創造	<ul style="list-style-type: none"> ✓ オーバーツーリズムの問題もあり町全体での受入や周知が必要では。 ✓ 『来年行ってみたい世界の旅行先』に山形県が選出され『水没林』もその中に入っている。この機会にスピード感持ってアピールすべき。 また、台湾ばかりを重要視している風に見えるのですが、欧米等世界中に売り込むチャンスでは。 ✓ 新たなツーリズムが、活発化していることは素晴らしいことと思います。そのツーリズムの効果が、多様な産業にも利益が生じるように、観光面だけでなく、常に異業種間、さらには、産学官金などあらゆる分野で意見交換ができる仕組みがあり、拡充していくことを望みます。 ✓ 白川湖水没林観光や台湾インバウンドなど、新しいツーリズムとして高く評価したい。数値目標の達成度としても現れるようになった。 ✓ 目標指標はすべて目標達成。途中で手法を変えたことは評価してよいと思う。実施事業の内容を見ると、中間年以降の数値目標も新たな視点で挑戦していただきたい。 ✓ 町の P R が出てきているプロジェクトであり継続。
12	人をつなぐ、心をつなぐ交流と発信	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 高円寺アンテナショップは知名度が上がってきている。町民への周知。PR をもっと行うべき。 ✓ 交流事業を行っているようだが当事者にしかわからない。また、効果が全く見えない。KPI 自体も目標に達していない。 ✓ 地域で飯豊町と交流があるのは、友好都市の南房総市・桶川市、災害応援協定をしている弥彦村、チャレンジショップがある東京都杉並区高円寺純情商店街などがあります。また、企業として、企業の森のある NX グループ、過去に企業研修を実施してきた経過があります。是非、お互いの交流が拡充する、内容が多角化する交流の仕掛けと情報受発信をお願いします。 ✓ 数値目標に合わせて様々な事業を展開し、成果を上げている。 ✓ 目標指標はすべてほぼ達成。中間年以降の数値目標も新たな視点で挑戦していただきたい。 ✓ 芸工大のコミュニティ学科との連携をしてみてもは。

No.	プロジェクト名	意見
13	魅力的で活力ある、力強い農林業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ✓ モニター事業数も増加しており今後も継続していく。 ✓ 航空測量をどう生かすのか。一部の人だけ理解しているだけでは、ゼロカーボンもあり、森林吸収量をもっと増やすように植林するべきでは。 ✓ 特に農業は天気左右されやすい。また、昨今世界情勢が不安定なことからもあおりを受けやすいと言える。農業を営む人達が安定して生活できるよう支援が必要。そうすることにより問題になっている生産者の数も増えるのでは。 ✓ みどりの食料システム戦略を踏まえ、オーガニックビレッジ宣言をした市町が置賜に3自治体あります。今後、生産者・流通・消費者まで一体となって取り組む有機農業は大切な施策だと思います。農業は、この田園地帯で暮らしや生命、文化を支えている基本的産業であり、町内の担い手だけでなく、全国から風土産業に取り組みたいと選ばれる地域づくりに向けて、是非、有機農業の取組を進める施策をお願いします。 ✓ 森林と人の関わりが、人間の暮らしの便利さと引き換えに、希薄になってきたと思います。その結果、豪雨災害による被害甚大、有害鳥獣問題などが現れています。山への気づきを、関心を高めるための努力が、全体で必要だと思います。 ✓ 目標を達成。中間年以降の数値目標の指標は複数設定し、進捗状況がわかりやすいものにしていただきたい。 ✓ 農家の人にアンケートをとって何を求めているか課題を見つけてほしい。
14	域内循環社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 米沢市のような新電力等、CO2を考慮した事業をどう進めるのか見えてこない。 ✓ 脱炭素先行地域100にされたことが町民に周知されていないのは残念。国からの補助金を利用して省エネ再エネを進めるチャンスだと思う。 ✓ 化石燃料から再生可能エネルギーへの転換導入は、早期に必要だと思います。地球がどんな状態なのか、もっと積極的に情報を提供する必要があると思います。 ✓ 脱炭素先行地域100説明会などの参加者は少ない状況です。より身近な暮らしにおいて、環境配慮浸透のための周知が必要です。家庭内や集落内で取組を行えるポイント制度や、報告会・意見交換会、実践内容や環境配慮の機械器具の展示会など実施する方法もあると思います。 ✓ 7年度もフォーラムもワークショップも開催されなかったことは残念。町民の関心を高める方策が必要と思う。 ✓ 数値目標の「ワークショップ」は達成したが、「フォーラム」は0。計画の範囲内での評価としては「C」。審議会では計画の進行管理で判断するべきであり権限外であると思うが、残念なことに町が関与するバイオマス関連事

No.	プロジェクト名	意見
		業で全国ニュースにもなる不法投棄事案が起きてしまった。「理想」「計画」「目標」以前の課題では無いか。まずは、法令遵守。足下から再確認が必要なのではないかな。
15	地域の拠点づくりと新たな地域支えあい活動等の創造	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 拠点づくりは集まれるネットワークが必要。時間帯も考えるべき。 ✓ コロナ渦が収まったこともあり地域活動が活発に行われきつつあると感じる。これからなお期待します。 ✓ 地域の拠点には地区まちづくりセンターがあります。まずは、それを活用した動きをつくることと、上記 5 センターのない地区については、大字館や空き家活用、別施設に多様な機能をもってもらうことでの拠点もあると思います。是非、将来、ランニングコストなど継続的な将来負担がかからない、自立した拠点となることが必要と思います。 ✓ 地区の拠点に行きたくても行けない人のための、交通手段の確保策も併せて検討が必要です。（買い物、病院、観光施設などへの交通手段と一緒に検討する必要もあると思います） ✓ 3 指標全て目標達成。事業も見えやすい。計画、目標、指標がもっともマッチしたプロジェクトだと思われる。中間年以降の数値目標の指標に期待。 ✓ 芸工大のコミュニティ学科との連携をしてみてもは。
16	「日本で最も美しい村」づくり	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 何を指して「美しい村」と言うのか。目標のない事業の様になっていないか。 ✓ 20 年近く前に『日本で最も美しい村』に選出されてから、それを維持してこれたことは評価できること。これからますますの人口減少、生活様式も変わっていく中で難しくなる部分がある。そこで、水没林と併せてブランド化することで観光収入を利用して維持して行けるのでは。 ✓ みどりの資源を、多くの知恵や手で保全、活用することで、飯豊ブランドが形成され、そこでつくられたものに価値がつくような地域になりたいと思います。今、率直に意見交換する機会をつくり、多くの声を拾い、意識して方策を練り上げないと、間に合わないような気がします。無くなったら、元には戻りません。 ✓ 景観も含めて文化を継承していく地域の指定や、集落そのものを指定することもあり得ると思います。 ✓ 5 年度、6 年度で見られた景観条例制定に向けた動きは、立ち消えになったのか？新総合戦略の中にも見えないように思えるが。「最も美しい村」であるためには景観条例は必要ではないのか。 ✓ 「ワークショップ」の目標のみ未到達であるが「取組団体」や「アーカイブ」は達成。中間年以降の数値目標の指標に期待。一方で、14にも記載し

No.	プロジェクト名	意見
		<p>たが町が関与する事業で不法投棄事案が起きてしまった。「美しい村」の最低条件としてこのようなことが起きないようにすることが大切なのではないか。</p>
17	スマートカントリー構想の実現	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 移動についてデマンドカーは成立しているが、他の事業は見えない。 ✓ KPI だけ見ると全く何もできていないように見える。取り組みと目標が別物なのか。中身を大きく見直しが必要なのでは。 ✓ 町を取り巻く状況変化に伴い、構想の具体化と情報提供をより図り、町民の理解を得る必要がある。 ✓ 構想実現のための人材育成や研究をする場の現状の分かりやすい情報発信が求められる。 ✓ 様々な取り組みは継続しているようだが、数値目標の達成にはつながっていない。 ✓ 当事業は目標指標に掲げた事項の実績は全くないのであるから「D」とするべきだと思う。計画に無い事業をやっているのであれば、数値目標の指標を変えるべき。「ほほえみカー」事業にも多額の予算を使っているのだから、こういった経常業務の継続も目標指標に掲げてよいのでは。
18	デジタル化を活用した強固な社会基盤の確立	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 町民にとってはまだまだ紙ベースでの手続きが主でデジタル化は感じられない。 ✓ コロナ渦によりデジタル化が進み若年層にとってはプラスに。しかし、高齢者にとってはついていけない部分もある。デジタルだけでなくアナログの部分も大事だと思う。 ✓ パソコン・スマートフォンを全世帯に普及することが大事な時期です。そのためにも、デジタル技術が暮らしの中で、どのように有効に楽しく使えるのか具体的構想を示す必要があります。町で策定したものを情報発信ください。 ✓ また、デジタル技術を使える人、使えない人の格差が広がっています。いつでも、どこでも、何でも、誰でもネットワークに繋がるユビキタス社会実現のため、デジタル技術をどこでも学べる、相談できる地域拠点をPRし、利用してもらうことが必要と思います。 ✓ 町民や飯豊町に関心のある人への情報受発信のためのアプリと共に、町民の地域貢献や参加によるポイントを地域通貨として町内や連携友好都市、高円寺純情商店街で使用できるし、将来の除雪補助や移動援助などに使用できるような仕組みとアプリの創設を検討してほしい。 ✓ 町公式 LINE や公共施設オンライン予約、マイナカードの普及率の向上など着実に成果が上がっている。 ✓ 指標 3 つのうち 1 つが目標達成。今年以降は、法律で義務付けられる

No.	プロジェクト名	意見
		「マイナンバーカード」の普及率を目標とすることが相応しいのか。「モデル事業」開催「1」を数値目標に掲げることは疑問。中間年以降の数値目標の指標に期待。
19	こだわりの産業を創る商工業基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ こだわりのバイオマスが倒産では残念です。 ✓ KPI に関しては目標達成していると言える。しかし、町内の買い物環境は益々悪化している。都市部の真似では解決できないので独自の工夫が必要。例えば、CO・OP のような注文宅配システムはどうか。肉は肉屋さん、酒は酒屋さん、シャンプーは美容理容室等・・・町内のお店から週一予約制とか。 ✓ 商業については、担い手の視点、消費者の視点の両面から、緊急的と長期的な施策により対応する必要があると思います。施設は町の遊休施設を使用し、複合的な利用による対応もあると思います。 ✓ 何にこだわるのかを、しっかり共通認識をもって産業につなげる意思をつくり、継続していく方向を決定することが大事です。その過程で、一つの産業だけでなく、農業、林業も含めた多様な産業の担い手が意見交換できる場の設定が必要と感じます。その際、(株)デンソー山形で愛知県より来られている方、杉並区の高円寺純情商店街の関係者の方などにも参加いただき、グローバルな視点での率直な意見と情報提供ができればと思います。 ✓ 数値目標を2項目とも達成していることはすばらしい。中小企業や個人事業主への支援にも力を入れている。 ✓ 新総合戦略にもある買物拠点の整備を急いでほしい。 ✓ 既に一昨年度に目標値を達成していた。その点では「A」。ある意味、容易に達成できる目標(指標項目、数値)を設定したことを踏まえて中間年以降の数値目標の指標に期待。 ✓ 町民の買い物環境改善が急務。
20	バイオマス産業都市構想の推進	<ul style="list-style-type: none"> ✓ こだわりのバイオマスが倒産では残念です。 ✓ バイオマス製造施設稼働から10年以上経っているようですが、現在町内でどれ位の需要があるのでしょうか。また、効果が見えないので評価し辛い。 ✓ 飯豊町の森林の保全活用について、航空レーザ測量の結果を活用して、計画的活用と、地域内循環の実践を目指した取組を進めていただきたいと思います。 ✓ 必要な事業だと思うが、当事業は目標指標に掲げた事項の実績では「D」とするべきだと思う。数値目標の指標をもう少し身近なものに変えてはどうか。14. 16にも記載したが、全くの民間企業の事件なら不

No.	プロジェクト名	意見
		可抗力的な面もあるが、町が関与していた事業であることを勘案すると根幹からの再検討が必要なのでは。